

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成30年度 第2回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	平成30年9月27日(木) 午後2時00分開会 午後2時57分閉会
開 催 場 所	入間市役所 B棟5階 第4委員会室
議 長 氏 名	栗原桂一
出席委員(者)氏名	横山義武、鈴木雅士、森山治代、齋木 茂、山畑雅浩、青木和子、幸森康夫、栗原桂一、植竹利之
欠席委員(者)氏名	齋藤 悟、梅 陽子、小暮欽作、村野裕子、野田あさ子
説明者の職氏名	片寄社会教育課長 林田社会教育課主事 大石公共施設マネジメント推進課主幹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) I 社会教育委員会議 1 開 会 2 議長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議事項 (1) 公共施設マネジメント計画の進捗及び今後の計画について (2) 社会教育事業の上半期の報告及び下半期の予定について (3) 各委員からの社会教育活動の報告について (4) その他 5 その他 今後の会議日程について 6 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	西澤教育長、新見教育部長、関谷教育部次長 石川博物館副館長、佐藤図書館長、吉川中央公民館長、 片寄社会教育課長、関谷社会教育課主幹、林田社会教育課主事、 植竹社会教育指導員

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 協議事項

- (1) 公共施設マネジメント計画の進捗及び今後の計画について
- (2) 社会教育事業の上半期の報告及び下半期の予定について
- (3) 各委員からの社会教育活動の報告について
- (4) その他

2 報告事項

- (1) 社会教育課 片寄社会教育課長説明

- ① 第 24 回いるま生涯学習フェスティバルについて

開催要項

日 時 平成30年12月2日(月) 午前9時45分～午後3時15分

会 場 産業文化センター 児童センター他

テーマ いるまなびと大作戦Ⅲ #仲間 #体験 #発見

- ② 配付資料について

- ・人権啓発講座
- ・成人式 親からのメッセージ発表者募集
- ・平成30年度いるま学びの場所

- (2) 入間市博物館 石川副館長説明

配付資料について

- ・アリットフェスタ 2018 特別展「煎茶の愉しみ」
- ・「秋の茶会」
- ・旧石川組製紙西洋館 秋の特別イベント
- ・指定管理者自主事業「おいでおいでかみしばい」展

- (3) 図書館 佐藤図書館長説明

- ① 入間万燈まつりリサイクルフェア(図書館まつり)について

日 時 平成30年10月27日(土)・28日(日)

会 場 図書館中庭

内 容 リサイクル図書の無償配布について

- ② 「チャレンジ!読書ラリー」について

日 時 平成30年10月27日(土)～平成31年1月13日(日)

会 場 図書館本館・分館

内 容 小学生対象、ビンゴのマスの中に書いてあるテーマに沿った本を読んでもらう。達成した数に応じて記念品をプレゼントする。

- ③ 配布資料について

- ・平成30年度図書館要覧
- ・図書館カレンダー(平成30年度下半期)

- (4) 中央公民館 吉川中央公民館長説明

- ① 地区公民館文化祭について

議事の概要（経過）・決定事項

② 配付資料について

- ・秋を彩る創華展
- ・入間市工芸展
- ・入間市民コンサート
- ・入間市民管弦楽団定期演奏会
- ・入間市菊花大会
- ・入間市民合唱祭
- ・入間市民吹奏楽団クリスマスコンサート

4 その他

次回の会議日程について

第3回 平成30年12月14日（金） 午後3時より 市役所C棟5階 501会議室

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
<p>栗原議長</p> <p>大石主幹</p>	<p>(1) 公共施設マネジメント計画の進捗及び今後の計画について それでは開会する。協議事項(1)について、公共施設マネジメント推進課より説明をお願いする。</p> <p>会議資料1頁の公共施設マネジメント意見交換会の実績と主な市民意見をご覧ください。</p> <p>まず、公共施設マネジメント事業計画の意見交換会については5月から7月にかけて8会場で延べ428名の参加があった。意見については会場で直接出されたものをまとめたものである。市から計画の内容等を説明した後、意見交換をした。意見として公共施設マネジメント全体に関しては、公共施設がそれぞれの地域になくなると地域が衰退する不安があることや統廃合や複合化した後の跡地活用など将来像を提示してもらった方が、地域の将来像をイメージできて検討しやすいという意見があった。施設が少なくなると防災面で避難所が少なくなるので安全面で配慮してもらいたいなどの意見をいただいた。地域づくりとあわせて公共施設の再編成を考えるべきだという意見が多かった。</p> <p>個別施設に関しては、地区センターについては市としては支所や公民館の機能を備えた地域の拠点となる施設として内容を検討している。地区センターについては、サービス提供を備えたものとして建物だけでなく組織の体制も考えていただきたいという意見があった。</p> <p>小中学校の統廃合については、他の施設と複合化したり小中一貫校を整備することで、地域に残してほしい。小中学校を統合するのであれば、徹底した安全対策と無理のない通学距離になるように時間をかけて検討してほしい。併せてスクールバスの検討も必要である。学校の複合化についてはセキュリティの確保が最重要課題でその不安が解消されなければ複合化はすべきではない。というように地域の拠点となる地区センターに関するものと小中学校の統廃合に関する意見が多かった。特に学校が遠くなることの通学時の安全性の問題、公民館が遠くなることによる利便性の低下などの問題を指摘する意見が多く出された。その他の事項としては、人口減少対策を進めた上で公共施設の統廃合を進めるべきである。それぞれの地域の将来像を示したうえで、公共施設の再編成を検討しなければならない。といったまちづくりの視点や、市民がいかに関わっていくかという視点での意見が出された。</p> <p>次の2頁の市役所および市民会館・中央公民館の耐震化についての意見交換会であるが、こちらには7地区合計270名の参加を得た。</p> <p>市役所の耐震化については、人口減少が予測されているので、市役所の規模を縮小することを考えてもらいたい。学校は耐震化で済ませたのだから、市役所も耐震補強でよいのではないか。学校や公民館を統廃合するのに、多額の事業費を掛けて市役所を建て替えることは納得がいかない。できるだけコストをかけずに済む方向を選ぶべきではないかという意見があった。</p> <p>市民会館・中央公民館の耐震化に関しては、人間市が文化他市を標榜していることを考えると千人規模のホールが必要ではないか。市民会館の有効利用に向けては、他市とのホールとの役割分担を考えた方がよいのではないか、また洪水時の避難場所なので、場所を変えるならば代替のものを考える必要がある。市民会館の必要につい</p>

発言者	発言内容
	<p>て様々の視点から意見があった。市民会館についてはあの規模のものが必要かという意見と、文化の振興という点から必要であるという両面からの意見がある。幅広い意見があることを再確認した。耐震化については、市役所、市民会館両方建て替え、市役所建て替え、市民会館耐震補強、市役所と市民会館を複合化などいくつかの案を説明したが、複合化案だと周辺の交通環境の悪化、駐車場の不足、空いているスペースの減少などの課題がある。当面は安全性確保の点から耐震補強を行い、費用の負担を少なくすべきである。今後人口が減少するので、今のうちに建て替えた方が将来に負担をかけないであろう。障害者の視点を持って具体化してほしい。などの意見が出され、多くの人が耐震性の必要性を感じているが、費用のできるだけ少ない方向で進めてほしいということが分かった。他の意見は資料をご一読願いたい。</p> <p>以上が5月から7月に行われた意見交換会の実施結果の報告である。</p> <p>意見交換会、地区懇談会で地域の方の意見を聞き市民から多くの意見を聞いた。さらにアンケート調査を行い、また、小6と中3全員、16～29才の若年層を無作為抽出し1000名に郵送し、200名から回答を得た。そういう形で幅広く市民から意見をもらった。現在行っている作業は、耐震化についての素案をもとに意見交換をし、市役所の関連部署と分析を進め、計画案としてまとめる作業を今後の予定としては11月を目途に取りまとめ、12月議会に報告、1月にパブリックコメントや説明会を開催し、改めて市民に示し、意見を伺って、3月に策定するところである。公共マネジメント計画の進捗と今後の予定についての説明は以上である。</p>
<p>栗原議長 青木委員 大石主幹</p>	<p>この件について何か質問はあるか。</p> <p>公共施設の統廃合と地域ごとの防災対応実践に関して質す。</p> <p>年々自然災害が多発する状況で、入間市の公共施設の統廃合により避難場所の設定が減少、遠距離化する不安が各地域である中で、今後どうするかについては公共施設マネジメント事業計画を策定中であるが、この計画は計画期間が30年間のものである。最初の10年で実施する計画、次の10年で考える計画、次の10年という形で、時期ごとに見直しを図っていくものとしている。その過程で市民の意見をより伺う機会であるので、防災面に関するもの、交通面に関するもの町の集落のあり方についてもより深く検討する必要があるものとする。実際に施設の統廃合など具体的に話し合っていく上で課題についてより深く検討するとともに、それぞれの施設について市民の意見をお聞きして進めていきたいと考えている。具体的には、なるべく一つ一つの課題をクリアしながら市全体で考えている。以上である。</p>
<p>栗原議長</p>	<p>質問事項に答えてもらった。みなさんで考えていただければと思う。地域のことと市役所のことを上手く分けて考えていければと考える。</p>
<p>幸森委員</p>	<p>11月中に取りまとめるということだが、色々な意見を取捨選択することであるがどのように庁内で検討するのか。</p>
<p>大石主幹</p>	<p>いただいた意見を分類、分析して、一つ一つ検討していく。市の考えを照らし合わせてまとめて原案の公表とパブリックコメントなどを行いたいと考える。</p>
<p>幸森委員</p>	<p>市民の意見を聞いた上で整合性を図りながらであるから、市民の考えを聞いて終わりということのないようにしていただきたい。答ありきではなく、色々な意見を吸い上げてもらいたいと思う。</p>
<p>栗原議長</p>	<p>市民と行政の間に議会があるので活用していきたい。</p>

発言者	発言内容
斉木委員	行政の計画ありきという方向で持っていないで、市民の意見を聞いて計画づくりをしていただきたい。
大石主幹 栗原議長	関連各課でよく話し合いをもって、市民の声を大切にしまとめていきたい。協議事項（１）については以上とする。
栗原議長	（２）社会教育事業の上半期の報告および下半期の予定について協議事項（２）に移る。平成 30 年度の上半期の報告と下半期の予定について、事務局より説明をお願いします。
林田主事	社会教育委員は任期 2 年で本年度は 2 年目に当たる。昨年より進めている社会教育委員の活動指針について、本年度は第 3 回目の会議から進めていきたい。成人式については、1 月の成人式と、今後の成人式について考えていくところである。社会教育委員会議の計画としては以上である。
栗原議長 片寄課長	何か意見、質問はあるか。特にないようなので、次お願いします。 社会教育課の報告をする。4 から 9 月について、主要な行事について報告をする。社会教育課は、7 月子ども大学さやま・いるま入学式、9 月子ども音楽大学入学式を実施した。大学との連携を考え実施した。こども大学とは、狭山市教育委員会と東京家政大学と連携し、小学校 4 年生から 6 年生までを対象に授業を 4 日間実施した。子ども音楽大学いるまは武蔵野音楽大学と連携し、小学校 4 年生から 6 年生までを対象にそれぞれの大学の特徴をもった学部と小学生との交流連携を図った。次に、9 月 19 日には、健康福祉センターで人権問題講演会を人権推進課と共催で「いろいろな性いろいろな生き方」というテーマで開催し、135 名の参加者があった。以上である。
石川博物館副館長	博物館では、第 14 回アリットお茶大学を 5 月に開講し、3 月まで合計 16 日間開催する予定であるが 160 名の参加が見込まれる。6 月には、西武ライオンズ 40 周年記念展を開催したが、5,336 名の入館者があった。7 月の西洋館一般公開記念イベントには 770 名の入館者を数えた。第 2、4 土、日曜日に一般公開を始めた。さらに夏休み中子どもお茶大学では 75 名の参加があった。8 月の博物館ボランティアによる親子で楽しむ遊びの広場には 1,027 名の親子の参加があった。以上である。
栗原議長 佐藤図書館長	続いて図書館からお願いします。 図書館では、乳幼児の父母のための読み聞かせを実施した。潤いのある子育てを目的に実施したが、40 名の参加があった。増えていくことを期待している。5 月から 10 月にかけて、各小学校を訪問し、図書館利用教室・図書館見学会を実施した。利用法などについて小学校 2 年生対象に 15 校 1,152 名に対して指導した。また、小学 3 年生に対しては、図書の探し方、図書館の裏側など 14 校 1,062 名に対し実施した。7 から 8 月にかけてプチ 1 日図書館員を募集したところ 92 名の参加があり、高校生ボランティアも 40 名を超えた。以上である。
栗原議長 吉川中央公民館長	続いて公民館お願いします。 公民館では、7 月 29 日からキッズアートギャラリーを開催したが、作品展示サイエンスに 3 日間で 878 名の参加があり、中学生・高校生スタッフも 47 名の参加があった。作品も 23 点の展示となった。放課後子ども教室、児童センター、各中学校から作品展示をいただいた。また、夏休み子ども居場所づくり事業を行った。

発言者	発 言 内 容
吉川中央 公民館長	内容は、主に宿題や、自由研究等を公民館の空き部屋で学習してもらおうというものであるが、13館で延べ165日開催したが519名の参加で少なかった。準備不足・宣伝不足と見守りボランティア不在などが課題として挙げられる。改善して、子どもたちの居場所づくりをしていきたいと考える。以上である。
栗原議長 片寄課長	続いて下半期の予定について願います。 12月2日にいるま生涯学習フェスティバルを行う。市民の会を中心に、参加型のコンサートや、昭和発見として、昭和の歌を歌う企画、子どもたちのダンスの発表、まちづくりワークショップなどを行う。さらに体験講座等を実施する。1月14日に成人式を実施するが、本年も社会教育委員には来賓並びにスタッフとして参加していただくのでよろしくお願いしたい。昨年度の出席率は75.6%で近隣市に比べると高い。事務局としては、さらに工夫して一人でも多くの成人に参加してもらい出席率を高めたいと考えている。2月21日に人権教育実践報告会を入間市博物館で実施するが、東金子中、黒須小PTA、藤沢東小PTA、藤沢公民館、藤の台公民館が発表するので是非参加していただきたい。資料として、人権啓発講座、いるま学びの場の冊子をお配りしたので、活用していただきたい。以上である。
栗原議長 石川博物 館副館長	続いて博物館願います。 10月6日に秋の茶会を実施するが、青丘庵の広間席90名、小間席で48名の定員で参加募集を行っている。他に火入れ茶実演、生花展示も実施する。10月10日から21日には、おいでおいでかみしばい展、11月1日から12月9日には、アリットフェスタ2018として、「煎茶の愉しみ」を開く、博物館所蔵の煎茶道具の展示と講演会を実施する。西洋館では秋の特別イベントとして、講座、コンサートを開催する予定である。詳細は資料を及びアリットニュースを見ていただきたい。
栗原議長 佐藤図書 館長	続いて図書館願います。 図書館では、本館、分館で冬のお楽しみ会として通常より長い1～2時間程度の読み聞かせ、手遊び、大型紙芝居、パネルシアターを実施する。また、児童文学講演会も行うので参加していただきたい。図書活動の支援、利用促進を図るものとして実施する。
栗原議長 吉川中央 公民館長	続いて中央公民館長願います。 文化の秋となり、各公民館の文化祭が11月にある。他には秋を彩る創華展、工芸展、市民コンサート、市管弦楽団の定期演奏会、菊華展、市民合唱祭、クリスマスコンサート等を実施する。
栗原議長	以上で協議事項(2)は終了とする。
栗原議長 森山委員	(3)各委員からの社会教育活動の報告について 各委員からの報告を願います。 10月7、8日にアミーゴで秋祭りクラフトフェアを開催する。入間市音楽家協会では、アミーゴで3月にスプリングコンサートを実施する。 青木委員どうか。
栗原議長 青木委員	文化遺産をいかす会では西洋館が第2、第4土、日曜日を中心に公開している。今までは行く機会が少なかったが、入れる機会が増えたことは大変喜ばしいことである。彼岸の時期に蓮華院に来た足で来館される方もいる。遠くは九州や東京から、

発言者	発言内容
青木委員	L'Arc-en-Ciel のプロモーションビデオの関係もあり、是非その場を見たいということでの来場者もある。仮面ライダー幽鬼などのドラマ撮影もあり、かなり盛況である。私たちもボランティアガイドとして生かされるとよいと考える。一般の人もガイド要請に関わってもらいたい。またにこにこ広場（こども食堂）には 80 名ほどの参加である。女性が多いので、男性の参加が増えるとよい。以上である。
栗原議長	続いて植竹委員お願いする。
植竹委員	保育園の行事として、10月6日に運動会があるが、大人も子どももみんなが楽しめる運動会を実施している。夏まつりは祖父母の参加も多いので、室内でゲームを実施したりして楽しめるものを実施した。他の施設との交流として保育園の外へ出て、5歳児、2歳児が特別養護老人ホームとの交流を広めている。できるだけ外へ出て交流を深めるようにしている。以上である。
栗原議長	幸森委員どうか。
幸森委員	子どもの居場所づくり事業について質問をしたい。1日平均の来館者のばらつきがあるが、今年度のみなのか。
吉川中央 公民館長	今年度実施してPR不足のところがあったので、改善していきたい。次年度へ向け継続していく方向で進めている。
幸森委員	公民館によるPRの差なのか。
吉川中央 公民館長	今までも実施していたが、空室の利用については宮寺公民館が進んでいるので参考にするなどしたい。子どもたちが遊んだり、本を読んだりしている。各館により空いている部屋の状況などが違うので全館同等とは言えない。
教育長	子どもの居場所づくりは市全体で考えていかなければならない。公民館以外遊びに行けない地域がある。本年度より各公民館にお願いし子ども居場所づくりをお願いしている。公民館によって状況が違うので一概に決めることは難しい状況ではある。また、見守りボランティアも募集しているが、まだ不十分である。来年度以降の課題である。
森山委員	7月に実施したサマーコンサートにおける評価が高い。本市の住民がテレビ番組の「あの人は今どうしている？」に出演した際、国際コンクールなどでも優勝しているパーカッション奏者がアミーゴで練習している姿も放映された。他市からの問い合わせも多くある。もっとアミーゴを宣伝しておけばよかった。
栗原議長	山畑委員どうか。
山畑委員	囃子連についてであるが、技術の伝承が難しいところがある。子どもの時は興味を持って体験してもらっているが、大学生くらいになると興味がなくなるようだ。扇町屋地区では、賀美、奈賀、志茂の各囃子が微妙に違っている。囃子連ごとに我流で継承してきたので、下の世代にいかに伝えていくかが課題であろう。
教育長	小学校では文化クラブや総合的な学習の時間などで郷土芸能の伝承で地域と学校でうまく関わっている。新久囃子で後継者問題について問われたが、新久小では、3年計画で鉦、太鼓、笛、踊りなどを学んでいる。現在2年目であるが、だいぶ上手になってきている。大人が楽譜がない中で指導している。金曜日の6時もしくは8時から実施している。中学校になると部活動で難しい面もあるが、子ども時代に経験したことで大人になると地域に戻ってくると考えられる。

発言者	発言内容
栗原議長	お祭りイベントとは別なもので、お祭りは奉納するもので、氏子が行うものである。金子地区では神社との関係があり、一斉に行うのは難しい。木蓮寺から三ツ木の範囲で行われ、それ以上に広げていくのは難しい。若い子にどうつなげていくかが課題である。和太鼓の場合は、イベントがあると懇親会等で出演することが多いので高校生などもよく取り組んでいる。
栗原議長 鈴木委員	鈴木委員どうか。 豊岡高校では、地域貢献活動として、自主的に地域に貢献するより呼ばれて出ることが多い。運動部、合唱部、吹奏楽部など、地域のイベント、お祭りへの参加、支援や特に万燈まつりへは野球部の父母会が出店という形で参加している。本年度は野球部員と保護者がボランティアで清掃活動に応募して参加するようになっている。自治会の運動会にはバトン部、放送部などが要請されて参加する。さらに豊岡小、豊岡中とは学習支援、学校交流、学校連携を強めたり、市からのボランティア一覧、案内の配布等を行っている。生徒は交流に関して熱心である。どんどん外に出て行ければと考える。
栗原議長 横山委員	横山委員どうか。 入間市内小中27校の子どもが大人になって地域に戻ってくるケースが多いと感じる。祭りへの参加、保護者、子ども、などが参加する行事に教員も地域行事には参加させている。そのような輪を広げることが「明るい入間市」「元気な入間市」につながる。また、ボランティア活動の増加や、敬老会への参加なども良く行われている。吹奏楽部が地域の行事に参加して盛り上げている。
栗原議長 斉木委員	他にあるか。 10月にウェスタ川越で入間地区社会教育研修会が行われるのでぜひ多くの委員に参加していただきたい。
栗原議長	7月に七夕用のマダケを金子小・中学校、児童センターに寄贈した。必要ならば来年使ってほしい。また、学校の樹木の剪定を行っている。市からの予算が少ないので、カイヅカイブキや、桜の木など、学校の樹木が整理されていない場合が多い。環境の整備をすることによって学校も落ち着くものである。環境整備の重要性を感じたものである。米百俵の話ではないが、予算面で入間市当局にもお願いしたいところである。何か質問はあるか。
幸森委員	諸活動が高齢化の中でいろいろな問題がある。活動に支障をきたすような状況に陥っている団体が見られる。このような問題に対し、誰がどのように対処すべきか。事例があるならお話をしていただきたい。
栗原議長 片寄課長	社会教育課どうか。 様々な団体が同じようなものを抱えている。1つの例として自治会の加入率の低下という問題がある。年配の方が増加している。役員の成り手がいない。自治文化課では、加入推進会議を実施している。200ほどの依頼事項があり実施している。この負担軽減を解消していかなければならない。市の職員がお祭り等で現地に行ってボランティアを実施したりしている。子ども会も同様であり、真摯に取り組まなければいけない問題である。
栗原議長 青木委員	他にどうか。 子どもに元気があつてよい。北海道胆振地震の際、厚真町でファームステイをした

発言者	発言内容
青木委員	野田中の生徒会長が募金活動をしていることがテレビで放映されたり、新聞に掲載されていた。
教育長	入間市青少年の船では、ファーム体験をしており、恵庭市だけでなく厚真町の農家に2～3人行ってる。昨年度行った生徒がステイした家を心配したり、これはどうにかしなくてはいけないということを感じたのである。このように若い者に体験させることは生かされて重要である。
森山委員	7月の豪雨の時は、募金額に+アルファをし、10万円にし、広島県三原市に送金したら、お礼のメールが来た。そのような事例がある。また、元気な子どもたちを育成するには、市民会館も発表の場として重要である。耐震工事を的確に実施し、最小限の工期にし、目途が立つように行っていきたい。
教育長	盛り上げてきた雰囲気壊さないためにも、計画通り行っていきたい。例えば、所沢のミュージズは、耐震工事に2年かかるので、その間にミュージズを使っていた団体が他市の施設を借用するケースがあり、計画が必要である。中学校の合唱祭は、武蔵野音大の施設などを借りる方法がある。
森山委員	入間市の場合は、市の施設を借用する際、他市より1カ月前に借用できるが、市民会館の工事の時は逆のケースが生ずることとなる。是非良い方向で検討していただきたい。
栗原議長	他になければ以上で議長の任を解かせていただく。ご協力に感謝する。
<p style="text-align: center;">議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">議 長 の 署 名</p>	